

2012 J.League Division2 第18節 **愛媛 F C** 戦

6/9(土) 19:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場 F C 岐阜大好き通信(岐大通) 6/9号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当: ささたく&吉田鋳造

today's guest:愛媛 FC 2011 J2 10勝 14分 14敗 勝5点 44第 15垃

1970年創設の『松山SC』が前身。天皇杯本大会出場は『愛媛FCユース』の方が先で、東京ガス(現・FC東京)が準決勝まで進出した 1997年の天皇杯では2回戦でその東京ガスを相手に延長戦にまでもつれこむ戦いをみせた。トップチームは2000年の地域決勝で1次ラウンドで敗退も当時のJFL拡充策に参加することで全国リーグへ参戦。2005年にJFLで優勝しJ2参戦。2007年の天皇杯では、直前に行われたアジア・チャンピオンズ・リーグ(ACL)を制した浦和に0-2で勝利、続く横浜FC戦も勝利してベスト8。最高位は2006年のJ2・9位。(吉田鋳造)

前節は、2位の千葉をアウェイで見事に倒したFC岐阜。現在は最下位だが、ひたむきに走り、集中を切らさずにプレイすれば、優勝争いをしている相手でも倒すことが出来ることを立派に証明してくれた。この勝利で掴んだ自信を胸に、今節は昨年はゼロだった連勝を目指したい。

F C 岐阜の勝利のためには、やはり先制点が重要だ。今季挙げた 3 勝は、すべて 先制点を奪ってのものだ。やはり、その一番の期待は前節も得点(そして決勝点)を挙げた# 18 佐藤洸一だろう。上質のミドルシュートを持つ# 8 リ・ハンジェの ゴールにも期待したいし、# 10樋口寛規も# 14 井上平も…と、要は「やはりホームではF C 岐阜のゴールが見たい!」ということかもしれない(苦笑)。今季の F C 岐阜の総得点は現在 8 点と J 2 で最低だが、うちホームで挙げた得点は、(非常に残念だが)なんと 3 点しかない(鳥取戦 2 点、北九州戦 1 点)。我々 F C 岐阜サポーターは、ホーム長良川での、F C 岐阜の得点と、勝利に飢えているのだ。今節こそ、ゴールと勝利の歓喜を!!

(ささたく)

2012J2 順位表 第 17節 勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の 戦績 岐阜から視て)

36p +11 28 17 A 1 山形 2 35p +11 25 14 H 京都 千葉 33p +18 28 9 A 東京 V 31p +14 31 17 30p +9 23 14 H 甲府 湘南 30p +8 30 22 A 大分 28p +6 24 18 H 水戸 28p +4 17 13 H 9 岡山 27p +2 15 13 A 10 栃木 25p +2 21 19 A 11 愛媛 24p +8 24 16 12 横浜 FC 24p +3 25 22 H 13 北九州 23p -3 19 22 H 14 福岡 21p +1 23 22 15 松本 20p -6 10 16 H 19p -6 14 20 A 16 徳島 17 草津 16p -10 11 21 H 15p -12 12 24 A 18熊本 19 富山 14p -8 15 23 A 14p -24 14 38 H 20 鳥取 21 町田 12p -13 14 27 22 岐阜 12p -16 8 24 === =

Living in Woods

本庄工業株式会社 http://www.hon.p-woodream.com/

ALADDÎN

何も無い店だけど・・ 心の花が咲く・・ 何も無い店だけど・・・ 心 癒される・・ 忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より 「おかえりなさい」が似合う アットホームな韓国料理店。 『チヂミ屋』は JR岐阜・名鉄岐阜駅から 徒歩3分。 休:日曜日(今日は営業しています)

F C 岐阜サポによるゲリラ的Ust配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画共有サービス「ユーストリーム」を利用した手作り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。サポーターの『生の声』をお愉しみください。

http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu次回は6/23(土) 21:00開始の予定です。

『岐大通』バックナンバーのお知らせ

すべてのバックナンバーを「吉田鋳造総合研究所」で pdfファイルを公開しています。配布時はA3サイズだったものも、こちらではご自宅などで印刷しやすいよう、すべてA4サイズに修正いたしました。下記アドレスをご参照ください。

http://www.cyic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

次回 HomeGame

第2節町田ゼルビア戦

6/24(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

【第16節】岐阜0-3甲府

今更思い出したくもない試合だが...(苦笑)。どんな負 け試合にだって少しはいいとこ探しができそうなものだが この試合に関しては何も見つけることができなかった。 とにかく甲府に力の差を見せ付けられてしまった感じ。6 000人超とまずまずの入場者を記録したのは明るい材料 だが、おそらく初めて FO岐阜の試合を見に来た方々も多か ったはず。そういった方々に、この内容でまた見に来よう と思わせることは果たしてできただろうか? (岐阜の誇り)

せっかく、今季最多のお客さんが来てくれたのに「残念」 と言うこともできない内容と結果。いったいどうしたとい うんだろう?先制されると厳しいのはわかっているけど、 失点は前半2分。アディショナルタイムを含めると、まる っと一試合分の時間が残っているんだから奮起を期待して いたんだが。前節の山形戦以上に動けていない、組織とし ての連動性もほとんど感じられない内容に終始し、唯一盛 リ上がったのが後半のハットのFKがバーを越えた瞬間だ けというのは見ている方としてはさみしい限り。もちろん、 選手たちも自分自身の不甲斐なさを感じるばかりのないよ うだったと思うがどうだろう?

確かに、甲府のダヴィ、高崎というFW陣は強力だった。 ことに、リーグ得点ランキングのトップを走るダヴィの得 点数は岐阜のチーム総得点を上回っていて、実際間近で見 る彼の体躯やスピード、テクニックは真っ向から立ち向か うのはとてもキツいタスクだなぁと思わされた。それでも、 彼を含め甲府の状況は事前にある程度わかっているワケで、 その相手に対しどのようなプランで挑んでいくのか、そう いった共通認識があったのか、なかったのか。しかも、ホ ーム・長良川での試合でいきなり失点というのは、どこか 集中力を欠いていたと言われてもやむなしだろう。プラン があったとしても、もろくも崩れてしまい、けっきょく試 合終了まで修正ができなかった、という見ていて一番ツマ ラナイ試合。そんな印象しか残っていない。

リーグ戦もすでに三分の一を過ぎ上位と下位の差が大きく なってきている中で、それでも残留を争う下位グループと の差だけは詰めていかなければならない。少なくとも一試 合で逆転できる位置にいなければ、途中で息切れすること もありえる。Jリーグという名のもとに戦えることの素晴 らしさ、喜びを今一度噛みしめ、気持ちの入った試合を見 せてほしい。

余談だが、甲府には岐阜出身の選手が二人いる。その一人 の片桐がベンチにも入ってなかったのは残念だが、もう一 人のGK荻晃太はフル出場。ふるさとの美濃市デーに、古 い言い方をすれば「故郷に錦を飾る」完封勝利に大きく貢 献した、と書きたいが正直慌てさせる場面もほとんどなか ったね。そういう意味でも、消化不良というかダメージの キツい試合だったかな?でも、まぁ、出てしまった結果は どうしようもない。次節のフクアリこそイイ結果を勝ち取 れるよういっそうアツく応援しなければ。(ぐん、)

『内容はいいけど結果が出ない』サッカーをやっている チームで、内容がよくなかったらそりゃこうなるわ~とい う試合で、特に憤りを感じることもなかった。というか、 とにかく得点力がなくて勝つなら1 - 0 しかないチームが 2分経たないうちの最初のシュートを決められたら、憤る 時間すらない。

今年の F C 岐阜が「 J 2 ではやれるだけのことを精一杯や ってそれでも0-1で負けるチーム」なら、せめてやれる だけのことをやって0-1で負けてほしい。試合終了後の 長良川競技場の正面前に集まった岐阜サポーターの虚脱感 をクラブの皆さんは少しは感じ取ってくれただろうか。 (吉田鋳造)

『特集』「ストライカー獲得募金」

甲府戦の日。試合に先立ち行われた持ち株会の会合に出 席した。事前に質問が募集されていたので、その内容と回 答を聞きたかったのだが、それがなかったのが残念といえ ば残念。社長、GMからの報告の後質疑応答の時間となっ たが、いつもと違い次々と手が上がる。報告、質疑応答と もその内容を記すことはできないけれども、出席者の色濃 い苦悩が伺い知れた。この時間の終了間際まで傍観してい たのだが、誰も聞かないので質問に立つ。例のストライカ -獲得発言について、だ。

最初にボク自身がイメージしている「ストライカー」の定 義について述べた。それは、あくまで得点を取ることに特 化した選手のことで、足や頭はもちろん、手以外のどの部 位を使ってでもボールをゴールに入れようとするのが特性。 そんなイメージを伝えた上で、今の岐阜に本当に必要なの はそういう選手なのかどうか。中盤でハットやハンジェが 頑張る。彼らから託されたボールをキープし、仲間が上が る時間を作り出せる選手。電柱ではない、文字通りのポス ト役。補強するなら、そのポジションなのではないか?と。 それに対する社長の回答。もちろん、コレも記すワケには いかないが(笑)、とりあえずその答えに、ひとまずホッ と胸をなで下ろしたことだけは記しておく。さらに、問わ ず語りというか、自らの考えを述べる社長。話の内容は、 そりゃあ、ごもっとも……と思ったのだが。ただね。「ス トライカー」という言葉はマスコミ向きかもしれない。字 面?はいいし一般受けするかもしれない。攻撃的なポジシ ョンというよりはいいかもしれない。けど、それが記事に なった時は、クラブや選手に対する思いが強く大きい人の 方が敏感に反応しちゃうよね。ヨクナイ意味で……。そし て、会の最後に出た募金に関する話。自分にとってはしっ くりこない。以前から在籍している選手の気持ち。今季加 入した選手の心情。補強を考えるのは当たり前のことだが、 この編成をしたのは誰か。限られた予算の中でベストと思 われる選手と契約したのではなかったのか。「善意」に起 因する話にはいつも心が洗われるような気がするけれども、 最初から「善意」に頼るというのは少し寂しく、そして悲 しい気持ちは否めない。そして、この「善意」というもの が時に大きいしこりを残すことも知っている。Jリーグ中 だけでもそういった残念なケースがあったはず。この募金 活動を行うにあたり、クラブ内でどの程度の議論が行われ たのか。余計な火の粉をかぶらないよう祈るばかりだ。

諸事情でスタジアムから足が遠くなってますが「ストラ イカー募金」となる募金活動についてサポーター内から意 見が多数あるようなので僕の意見も。

まず第一に補強が本当に必要なのはストライカーなのか? って点に異議が。岐阜の試合を見ていれば決定力以前に決 定機すらロクにない。それは中盤のパス出しと動き出しに 問題があるからに他無いです。前線の4人がパス貰いたい ばっかで棒立ちになってるシーン何回も見てるでしょうに。 チームのために無駄走りする選手、選手を使う選手がいな いことのほうがはるかに問題です。したがって僕はFWで はなくMFの補強を訴えたい。

そんな中ブルーノが鈴鹿に放出されました。事実上の戦力 外通告でしょう。この事自体には何の異論もありませんが、 なら何で余剰になる外国人選手を昨年末の時点で契約更新 したんだ?って話になります。その上でFWを獲得したい からお金くれ。ではサポーターの感情を逆撫でするだけと は思いませんか?

甲府戦で募金が27万集まったと公式にありましたが、2 7万で何が出来るんです?目標は3000万と聞いてます が本気で募金で3000万集まるとお思いですか?仮に3 000万集まったとしてどういった選手を取りたいのです か?FWにしたってあらゆるタイプがいるんですよ?闇雲 に誰でもいいからFW欲しいでは納得行きません。サポー

ターが何でもクラブの言う事聞く思った ら大間違いです。 その前に自分達はどのような努力をしてるのですか? 当分の間僕はスタジアムに行けません。したがって募金は 出来ません。仮にスタジアム行っても募金はしません。こ のクラブに一番必要なのはお金以前に体質の改善です。 (ジュニア)

例えばA契約の選手1人雇える最低限の金額である480万円を集められたとする。しかし、経営危機を叫び各方面に支援を求め、あまつさえ資金ショートのおそれという話まで飛び出している現状で、そのお金の使い道として選手獲得というのはベストなのだろうか。僕には何かズレてるような気がしてならない。一番大切なのはJ2残留ではなくFC岐阜というクラブの存続。ここを間違えてはならない。

そして選手たちは、こんなわけのわからない募金を始めさせてしまったこと、そして予告も何もなしで行われたこの募金に、僅かな時間で278939円ものお金が集まったことの意味をよく考えてプレイしてほしい。

(kumakuncj)

甲府戦の試合前になんの前触れもなくいきなり始まったストライカー募金。困難な状況を打破するためにいろいるな手を打つのは理解できる。しかし事前に公式HPなどで告知も何もなく始めてしまうのは如何なものであろうか?しかもその後この募金を始めることに対しての趣旨などの説明もなされていない(募金額の報告は後日あったが)。もしかしたら、持ち株会に対して趣旨説明などはあったのかもしれない。しかし、そうだったとしてもそれを知るのはごくごく限られた人間のみ。

それに今いる選手たちに対して失礼なのではないだろうか。 選手たち(特にFW陣)からしてみたら「お前らでは頼り にならん」と半ば言われているようなものではないのだろ うか?百歩譲って今いる選手たちの奮起を促すためであっ たとしても「ストライカー募金」という名称は、選手に対 するリスペクトを著しく欠いていると言わざるを得ない。 今後も続けるのであれば、今からでももっと適切な名称に 改めて行うべきであろう。そしてチームの置かれている現 状、財務内容などを広く明らかにしていくべきなのではな いだろうか?もちろん賛否両論はあるであろうが、いくら 今西社長が先頭に立ってやられていることとはいえ、こん な趣旨説明もないものに僕は募金をすることはできない。 せっかく自治体や財界との話し合いの場が設けられて、改 善に力を貸して下さろうとしているのに、もし話し合いの テーブルにつかれた方がこの募金の光景を見られたとした ら、どう感じるであろうか。(匿名希望)

今回の募金騒動(あえてこう言います)について、財政難に苦しむ今のチームにスタジアムで出来る数少ない活動の一つが募金活動だと私は思います。その点は問題ありませんが、命名した活動名にサポーターの反発を受けた事と未だに募金活動に関する趣旨説明が無い状態に問題が有るのだと私は考えています。

少し考えてみればチームの現状に見合うだけの「ストライカー」の獲得がスタジアムでの募金活動「ごとき」で獲得資金が得られる筈が有りません。場合によっては今回の募金で集まったお金が運営資金や選手の勝利給になってしまう事もあり得ると思っています。私はそれでも構わないと思っています。

チームから早々に公式に趣旨とここまで発表が無い事に関する説明を望みます。 (ヤックル)

それは、自分の目を疑うような状況だった。思わず「それはないだろう?」と叫んでしまうような。

5 / 2 7 の甲府戦。今西社長がクラブスタッフ 2 ~ 3 名と一緒に募金活動を行っていた。『ストライカー獲得のための募金』と背後の幟には書かれていたと記憶している。この経営状況で、トップが事務所で椅子に座っているだけ

でいいわけがない。社長自らが陣頭に立って活動するのは決して悪いことじゃないし、『ストライカー獲得』という文字だけ見れば「現有戦力の否定」とも受け取られかねないけれど、実際この日の甲府戦でのFC岐阜の試合ぶりは『戦力不足』が要因とも考えられる部分も多く見受けられたし、「獲得するべきは"ストライカー"なのか?」という疑問は残る(ぼくは相手ゴール前でボールを動かせ、しかもチャンスがあれば自分でも狙っていく司令塔型アタッカーだと思っているのだけど)ものの、募金活動そのものについては、疑問には思うけど"目を疑う"という感じではない

ぼくが目を疑ったのは、試合翌日朝のFC岐阜の公式サイト。0-3とまったくいいところなく敗れた甲府戦についての試合レポートはあったのに、そこには試合当日に集まった募金額はおろか、『ストライカー獲得募金』を始めたことすら載っていなかったのだ。趣旨説明もないままにただ「募金額のみ」が公表されたのが試合から2日後、火曜日の夜。これでは、この募金活動が果たしてクラブという組織の合意として行われたものだったのかすら判断しがたい。"興行"の対価としての『入場料収入』以外に観客の皆さんから大事なお金をいただいているという意識があまりに低いのではないか。

試合後に各地で大変芳しくない評価が湧いて出ている(ネットでは他サポさんも批判している)この募金、始めた以上は「じゃあ止めます」という種類のモノではないはでし、「選手補強」という"目的"が明確になっているこの募金活動については、クラブにお願いしたいことが2つある。1つは、速やかに"募金活動の期間"を明らかにすること。もう1つは、集まった額で目的を達成できなかったまった。「目標額で目の多金の活用先を明らかにすることだ。「目標額します」では、『ストライカー獲得』の名を騙った(自主規制)だと受け取られても仕方がない。(吉田鋳造)

【ユース】東海クラブユース選手権

我らがFC岐阜ユースU・18(以下岐阜ユース)は、5月27日(日)に磐田市のゆめりあで東海クラブユース選手権2次予選の一回戦が有りました。対戦相手は1次予選でも対戦し1対1の引分けだったHondaFC。私は観戦は出来ませんでしたが、協会やFC岐阜の公式サイトによると1対2で敗戦だったようです。非常に残念でした(><)。

これによってこの大会では「全国に進む」と言う今年の目標の一つは達成できませんでした。ただ秋には J ユースカップという全国に繋がるもう一つの大会が有りますので、こちらで目標達成をして貰いましょう!

一方のG2リーグは今日(6/9)大垣工業Bとの試合が有った筈です。結果はどうだったかな?

そしてその次の試合は6月23日(土)に大垣西高校との対戦です。第3節終了時点で大垣西と岐阜ユースは3戦全勝同士(得失点差で大垣西が1位)であり、いわば前半の天王山。必勝の気持ちで試合に臨んでもらいましょう。

頑張れよ!応援しているからな!! FORZA!FC岐阜ユース!!

(シュナ)

【第17節】千葉0-1岐阜

実は初参戦となったフクアリ。噂に違わず、駅からも近くアクセスも便利だし、スタジアムグルメも意外と(?)美味しいし、そして何より、管理の行き届いたサッカー専用スタジアムの素晴らしさ。音も良く響いて声を出すのが気持ちいいし、こりゃ、来年も訪れたくなるスタジアムだよねぇ…(笑)。

さて、今となっては「後出しジャンケン」になって恐縮だ が(苦笑)、この試合、僕は勝ちそうな気がしていた。ホ ームで悔しい負け方をした前節の甲府戦、挨拶に来た選手 たちはの表情は本当に悔しそうだったし、試合後のコメン トからも、それがにじみ出ていた。ああいう敗戦の次は、 チーム全体でリベンジに燃えてくれるものだ。それに、千 葉には09年天皇杯の熊谷、10年リーグ戦のメドウで勝って おり、相性も悪くない。しかも千葉は6連勝中だったのに 対し、今年の岐阜は「連勝ストッパー」として活躍してい る(苦笑)…と、いわゆる「フラグ」は立ちまくりだった。 そして実際、千葉の選手たちの試合への入り方はかなりル ーズだったように僕は見えた。チーム新記録が懸かった7 連勝のプレッシャーだったのか、それとも最下位相手で油 断したのか。一方の岐阜は、試合序盤から献身的な走りと 激しいチェックで千葉の選手を自由にさせていなかった。 しかし残念な事に、千葉のボールを奪うのは良いのだけれ ど、それを良い形で相手ゴールに持ち込むことがなかなか 出来ずに、再び守備に回ることが多かった。これは我慢比 べだな…と思っていたのだけど、前半36分、СКのこぼれ 球から#8ハンジェが強烈なミドルシュートを撃ち、GK が弾いたボールに詰めていた#18光一が押し込んで先制ゴ ール!一気に沸き立つ岐阜のゴール裏。その後、追加点の チャンスがあったものの、逆に千葉に追いつかれることも なく前半終了。しかし、先日のアウェイ山形戦では後半に 逆転された苦い経験もあるし、油断は禁物...。

果たして、後半になると千葉はギアを入れ替えて攻撃して きた。やはり個々の能力では差のある相手だけに、徐々に 千葉の勢いが強くなってゆく。しかし、献身的に走り回り、 ラインを高く保ちながら、集中して前線から全員で守備を する岐阜の選手たちは、決定機を何度か与えつつも最後の ところで必死に踏ん張り、千葉にゴールを許さない。逆に、 ボールを奪って相手ゴール前に迫るシーンも何度かあった が、こちらも追加点は奪えない。はてしなく長く感じる 45 分がゆっくりと過ぎてゆき、ロスタイムの(オフサイドの 判定だったけど)あわやオウンゴールには心臓が止まりそ うになりながら(苦笑)、必死に声援を送り続ける岐阜の サポーターたち。そして…ついに、審判が試合終了を告げ る笛を吹き、試合終了!歓喜の雄叫びをあげる岐阜サポ。 と同時に、ピッチに次々と倒れ込む岐阜の選手たち。静ま りかえる1万人の観客の中、岐阜サポが謳うアイーダだけ が響き渡るスタジアム。そのなんと痛快で甘美なことか。 疲労でグッタリしながらも、達成感で喜びを溢れさせなが ら歩いてくる選手たちを迎え、万歳四唱。そのなんと誇ら しいことか。これだから(岡山戦の時にも書いたと思うけ ど)アウェイ遠征はやめられなくなるんだよね...(笑)。 ホント、千葉相手に「これしかない」という勝ち方を見せ てくれた。最後まで走り抜き、戦い抜いてくれた。ホント、 感動的な試合だった。けれど、この勝利を無駄にしないた めにも、今後もこういったプレーを続けていくことが重要 だと思う。それに、やっぱり100人足らず(50人ぐらい?) の岐阜サポだけではなく、ホーム長良川で、多くのFC岐 阜サポーターの前で、勝利の喜びを分かち合いたい。

勝ったし無失点だったとはいえ、千葉のミスに救われた部分もあったし、追加点を取れる場面で決めきれなかったところもあり、反省点もチームで出ていることだろう。「勝って兜の…」なんて言えるほど勝ってもいない(苦笑)のだけど、この次の試合(つまり今節)が本当に大事だ。今季のリーグも前半戦が残りわずかとなった。連勝してチー

ムに勢いをつけるためにも、気持ちを弛めることなく、選手たちは最後までしっかりと戦って欲しい。そして僕らサポーターも、選手を後押しする声援を最後まで送り続けよう!(ささたく)

シビレた!興奮した!!アレだけやってくれたら結果はついてくる……と思うほどお気楽にはデキてないが (爆)、出された結果は至極当然。間違ってもドン引きではなく、勇敢に高く保ち続けたDFライン。彼らを鼓舞し、危険なシュートを防いだGK。前線からのチェイスを90分+ やり抜いたFW。攻撃に守備にと上下動を繰り返した両サイド。それらをリンクさせ、時にはカバーし、機をみるに敏とばかりに前線に飛び出し、GKを脅かすミドルを放った両ボランチ。勝利に飢えていた戦士たちが、遂に牙をむいた。そんな感じかな?

そして、ソレはサポも同じ。1万人を向こうにして常にア ツく後押しできていたと思う。すべてが最高だった。とは いえ、千葉の戦い方に救われた部分もないわけではない。 先制点を挙げるまで、ヒヤリとさせられる場面もあった。 千葉のノリが悪かったのか、ノセなかったウチをホメるべ きか(笑)また、後半途中から千葉のスカイツリー、北欧 の巨人・オーロイが出てきたこともターニングポイントに なったかもしれない。テクニックと戦術眼のある千葉の選 手にボールを持たれ、守備陣が釣り出され中央が薄くなっ た所を狙われて失点というケースが千葉との対戦では多か ったような気がするが、オーロイが入ったことによって千 葉は放り込みが中心となり、その分こちらの守備陣がある 程度サイドを捨て中央に絞ることができたとも言える。も ちろん、オーロイに競り勝つことはできないが、その落と し、セカンドボールを渡さないことに特化できたことも勝 因の大きな要素だと思う。絶えず競りかけた秀人の奮闘も 天晴れだったし、途中で明弘がマークについた場面なんか は思わず目頭がアツくなったものだ。

中継をご覧になった方の中にはこの試合、応援席の最前列 にウチの FW陣のダンマクが掲出されていたのをお気づき になった方もおいでかと思う。スタメン、サブだけでなく 待機メンバーの分も掲出されていたのだが、その意図は汲 んでいただけたのではないか。それはストライカー達の意 地と奮起を期待し、それを鼓舞する多くのサポーターの想 いの表れだ。洸一、平以外のダンマクは前日夜から蝮(応 援をリードしているグループの名称:念のため)の学生た ちを中心にほぼ徹夜で作り上げたモノだという。そして、 それに応えた形で決勝点を叩き込んでくれたのが洸一!決 してキレイな形ではないが、泥臭く押し込んでくれた。な りふりかまわず、ただ我武者羅に。だからこそ、得られた 感動だった(ホメすぎですか?そんなことないヨネ?) ただ、どれだけ倣岸と言われ、不遜と謗られようと、この 勝利は決してジャイアントなんちゃらではない!断じてナ イ!嘘かに彼我の差はある。選手だけでなく、クラブの歴 史にも財政にも、そしてサポも数は足りない。ただ、カテ ゴリーは同じ」2。格付けはいっしょのハズ。百歩譲って -昨年の柏や去年の東京なら格は認めざるを得ないかもし れない。しかし、千葉とは天皇杯を含めたら公式戦は五分 の成績。オマケに3季もJ2にいる相手にソレはないだろ う?と。そこまで卑屈になる必要も上から目線で語られる 理由もない。それこそ、ハンジェが甲府戦後にコメントし た過剰なリスペクトに他ならないんじゃないのかな?そり ゃあ、もちろん敬意は払う。だけど、リスペクトというの はJFLとか学生とかカテゴリーが下のチームと対戦する 時にこそ忘れてはならないものじゃないのかな?臆するな かれ、侮るなかれ。これからも、強い意志を持ち続けて試 合を戦い抜いてほしい。そして、またアノ感激を何回も何 十回も味わえるように。

でもね。本音を言うと、毎試合アレじゃ、そのうちガス欠になっちゃうゾ……と心配で。目の前の試合も大事だが、シーズンのマネジメントもしていけるように。一日も早く、余裕のボール回ししている姿が見たいもんだ。(ぐん、)